No. 1 2 4 1 2009年3月16日 JR東海労働組合

JR東日本の信濃川発電所は、プログラム改ざんや虚偽の報 告での違法取水問題で水利権取消となり運転を停止しています。 首都圏の列車運行にも支障しかねない事態であり、夏までの発 電所運転再開は絶望的と報じられ、まさに非常事態です。

JR東日本は、社長はじめ17人の処分を発表しましたが、清 野智社長の役員報酬50%減3ヶ月など減給・戒告に止まってお り、この非常事態に対する経営者の認識には呆れるばかりです。 美世志会の仲間は、日常の組合活動を強要罪とデッチ上げられ 不当にも懲戒解雇されたことを思えば、大甘な経営陣に対する 怒りは禁じ得ません。清野智社長以下経営陣は、自らのイスに 固執せず、経営責任を果たすべきです。



2009年3月12日東京新聞

観、プログラムの改さ 六人が役員報酬の減 **養だ。 御養** るだっ十七人の処分を